

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ガーラ西川口新築工事	階数	地上7F
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、準防火地域	平均居住人員	192 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年 月 予定	評価の実施日	2021年8月16日
敷地面積	1,569 m <sup>2</sup>	作成者	大村 吉美
建築面積	783 m <sup>2</sup>	確認日	2021年8月16日
延床面積	3,642 m <sup>2</sup>	確認者	大村 吉美



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み: 97% (44 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の: 97% (44 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+: 97% (44 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** **Qのスコア = 2.7**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

**LR 環境負荷低減性** **LRのスコア = 3.2**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合	室内環境、エネルギーを基本的に配慮がなされた設計である。	特になし
Q1 室内環境	室内環境において、開口部遮音性能T-2以上、断熱等性能等級における等級4相当、光視環境、を中心に配慮された計画である。	Q3 室外環境(敷地内)
Q2 サービス性能	サービス性能において、標準的な取組が行われた計画である。	Q3 室外環境(敷地内)において、標準的な取組が行われた計画である。
LR1 エネルギー	エネルギーにおいて、[BEI][BEIm]=0.94、設備システムの高効率化において配慮された計画である。	LR3 敷地外環境
LR2 資源・マテリアル	資源・マテリアルにおいて、標準的な取組が行われた計画である。	敷地外環境において、地球温暖化への配慮、光害の抑制を中心に配慮された計画である。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)ガーラ西川口新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		-		<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.3</b>	1.00		<b>3.2</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50		
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.6</b>	0.50		
1 開口部遮音性能		T-2以上		<b>3.0</b>	1.00	<b>5.0</b>	0.30		
2 界壁遮音性能				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.20		
1.3 吸音				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>3.0</b>	0.35	<b>2.1</b>	1.00		<b>2.3</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.3</b>	0.50		
1 室温		断熱等級4相当		<b>3.0</b>	0.63	<b>3.0</b>	0.63		
2 外皮性能				<b>3.0</b>	0.38	<b>4.0</b>	0.38		
3 ゾーン別制御性				<b>3.0</b>	-	-	-		
2.2 湿度制御				<b>3.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20		
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.30		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00		<b>3.5</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30		
1 昼光率		住戸2.0%以上		-	-	<b>5.0</b>	0.50		
2 方位別開口				-	-	<b>3.0</b>	0.30		
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.20		
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30		
1 昼光制御		カーテン+庇による昼光制御		<b>3.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.60	<b>3.0</b>	0.63		
1 化学汚染物質				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	1.00		
4.2 換気				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.38		
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
2 自然換気性能				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33		
4.3 運用管理				-	-	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				<b>3.0</b>	-	-	-		
2 喫煙の制御				<b>3.0</b>	-	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-		<b>2.8</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	1.00		<b>3.0</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.60		
1 広さ・収納性				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	-		
2 高度情報通信設備対応				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	1.00		
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.40		
1 広さ感・景観				<b>3.0</b>	-	<b>3.0</b>	0.50		
2 リフレッシュスペース				<b>3.0</b>	-	-	-		
3 内装計画				<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.50		
1.3 維持管理				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.8</b>	0.30	-	-		<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>2.0</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備				<b>2.0</b>	0.20	-	-		
3 電気設備				<b>1.0</b>	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				<b>1.0</b>	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>							
1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	0.50	
2	空間の形状・自由さ		3.0	-	2.0	0.40	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			3.0	-	3.0	0.50	
<b>3.3 設備の更新性</b>			3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	2.3
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			3.0	0.30	-	-	3.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			2.0	0.40	-	-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>							3.2
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	3.5
1	建物外皮の熱負荷抑制	断熱等級4相当	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.94	3.6	0.50	-	-	3.6
<b>4 効率的運用</b>			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価							
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	3.2
<b>1 水資源保護</b>			3.0	0.20	-	-	3.0
<b>1.1 節水</b>			3.0	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床:ビニル床シート	3.0	0.22	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	躯体と仕上りが容易に分別可能(LGS下地+石膏ボード仕上)	5.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			3.0	0.20	-	-	3.0
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>			3.0	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.0
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		LCCO2排出率97%	3.1	0.33	-	-	3.1
<b>2 地域環境への配慮</b>			2.9	0.33	-	-	2.9
<b>2.1 大気汚染防止</b>			3.0	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>			3.0	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			3.1	0.33	-	-	3.1
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>			3.7	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告照明を設置しない	4.0	0.70	-	-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート





■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)ガーラ西川口新築工事	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	----------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.1	+	2.6	=	5.7 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.1
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.1
LCCO2排出率97%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0

 : 入力欄